

(様式1)

2026年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 040	提案機関名 三浦市役所
要望問題名 ワカメ養殖の代替養殖品目の創出	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 近年、三浦半島沿岸部において海水温の上昇によりワカメ養殖の栽培可能期間が短くなってきている。また、東京湾側において海水温上昇由来と考えられる西部に分布していた植食生物による食害が発生している。このままでは将来的にワカメ養殖の存続が危ぶまれるため、ワカメ養殖に代わる市場価値のある代替品目を創出していただくとともに、食害の防止策を過年度に引続き研究いただきたい。	
解決希望年限	①1年以内 ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター ②畜産技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

回答機関名	水産技術センター	担当部所	企画研究部
対応区分	①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合) 沿岸資源管理・増養殖推進事業、水産業推進対策事業、水産業改良普及活動事業、磯焼け対策推進事業		
対応の内容等	(1)ワカメ養殖の代替品目 ワカメの養殖施設を活用したマガキの三倍体シングルシード種苗を用いた短期養殖を普及指導しています。養殖試験を行った地区で順調な生育が認められたところもあり、今後マガキ養殖が事業として成り立つかどうか、採算性等も視野にいれた指導を行います。 (2)ワカメ養殖の食害防止 食害防止ネットの設置や食害魚の個体数調整等、漁業者による取組について指導を継続します。また、ワカメの優良系統の開発を継続して取り組んでおり、海洋環境に順応し、食害を受けづらい時期に十分な生育が可能なワカメ種苗の作出及び安定的に供給することでワカメ養殖が継続できるよう取り組んでいきます。		
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			